



2026 年 6 月 26 日
飯野海運株式会社

2025 年度の投資家との対話実績

当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様との対話が重要であると認識しています。対話で得られた株主の意見や関心事項は定期的に取り締役会へ報告しています。また、当社グループの企業価値向上に向けた取組みをご理解いただくため開示の充実を継続して行っています。

個別面談の実施

・主な対応者

代表取締役社長／社外取締役／IR 担当部署*担当執行役員／IR 担当部署*部長

*IR 担当部署について

2026 年 6 月 24 日迄 : IR 担当部署は SR 広報部。

2026 年 6 月 25 日以降 : 組織変更により IR 担当部署が経営企画部 IR・資本戦略課へ変更。

・実施件数（国内・海外別）

	2023 年度	2024 年度	2025 年度
国内	29	35	43
海外	21	19	35
合計	50 ※うち、代表取締役社長は 21 件に参加、 社外取締役は 9 件に同席	54 ※うち、代表取締役社長は 20 件に参加、 社外取締役は 8 件に同席	78 ※うち、代表取締役社長は 19 件に参加、 社外取締役は 11 件に同席

決算説明会の開催（オンライン）

	開催時期	当社対応者	参加投資家・ アナリスト数	英語
中間決算説明会	2025 年 11 月	代表取締役社長 他	14 名	文字起こし配信
期末決算・新中期 経営計画説明会	2026 年 5 月	代表取締役社長 他	23 名	文字起こし配信

※いずれも決算発表日の翌営業日に開催

対話の主なテーマおよび株主の関心事項

経営戦略・事業	- 海運業について - 海運市況の実績および見通し - 当社主力のケミカルタンカーにおける競争力や強み
---------	--

	- 地政学リスクや環境規制等の外部環境の変化が業績に与える影響 - 投資計画 • 不動産業について - 保有オフィスビルの空室率、契約状況 - 今後の不動産戦略（保有意義 / 投資計画 / 資産効率の考え方等） • 中期経営計画（2026 年 5 月開示済）について - 対話時点で議論されている内容（今後の方針 / 課題等） • 事業ポートフォリオ経営について
財務戦略	• キャッシュ・アロケーションについて • 株主還元策の考え方（下限配当導入/自己株式取得等）
ガバナンス	• 買収防衛策の導入意義 • 政策保有株式の縮減方針 • 役員報酬制度
環境・社会	• 環境（カーボンニュートラル達成への取組み、外部規制の影響） • 社会（エンゲージメントサーベイなどの人的資本の取組み）
その他	• 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（毎年公表）

経営陣へのフィードバックの実施状況

	頻度	報告方法
投資家との面談における質疑応答の内容	都度	メール
投資家との面談における質疑応答の内容（抜粋）	年 4 回	取締役会での報告
決算説明会の参加者からのコメント	年 2 回	取締役会での報告

対話を踏まえた取組み

具体的な 内容	• 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」のアップデート
	• 対話でご意見いただいた以下の点を取締役会で議論し中期経営計画を策定 - 事業ポートフォリオ経営の深化 - 不動産の資本効率向上と事業全体の収益力強化に向けた考え方・具体策の整理 - 株主還元の強化（配当性向 40%、下限配当 30 円の導入、自己株式取得） - 政策保有株式縮減に向けたロードマップの策定 - 財務資本戦略の方針 等

（参考）

ディスクロージャー・ポリシー（[リンク](#)）

過去の投資家との対話状況（[リンク](#)）

中期経営計画（FY2026～FY2030）「Transformation for a Sustainable Future」（[リンク](#)）